

平成30年度「測量の日」における功労者感謝状の贈呈について

国土地理院では、測量・地図に対する国民の一層の理解と関心を高めることを目的として、平成元年度から、測量・地図に関する普及・啓発に顕著な功績のあった個人又は団体に対し国土地理院長から感謝状を贈呈しています。

今年度は、以下の団体に感謝状の贈呈を行います。

(敬称略)

◆とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 ましけさんどうかい 増毛山道の会 (会長 渡邊 千秋)

増毛山道の会は、平成20年に設立し、当時笹藪に埋もれていた約160年歴史を持つ増毛山道の位置を特定するため、独自に空中写真撮影や地権者と交渉をしながら笹刈りを行うなどの活動を進め、平成28年10月に全線32kmの復元を果たすとともに、電子国土基本図に掲載するためのルート確定に協力をされた。

また、復元作業の際には、明治期に北海道に設置された一等水準点のうち、最も標高の高い所に設置した点を含む9点が山道沿いに現存していることを確認し、同会自らこれらの水準点に説明板を設置し、平成23年度から北海道留萌振興局と連携して行っている体験トレッキングの参加者に水準点の意義や役割を説明するなどの活動を実施している。さらに、市民向けフォーラム、中学生を対象とした体験課外授業などのイベントにも取り組んでおり、主なテーマの1つとして、実際的水準点標石や水準測量に関するパネル等の展示、当時の水準測量から現在に至る測量技術の変遷に関する講演などを行っている。

これらの活動を通じ、同会は登山者や一般市民、生徒・教職員などへの測量・地図の重要性の普及・啓発に多大な貢献をされている。